

# 創業計画書【記入例】

[平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日作成]

お名前 株式会社 ○ ○

創業のきっかけ、経歴、技術、事業の特徴などのポイントを記入してください。

## 1 創業の動機（創業されるのは、どのような目的、動機からですか。）

・内装工事業に15年従事した経験を生かし、独立して自分の力を試したいと思っていた。	公庫処理欄
・現勤務先など、受注先を確保し、事業としての見通しが立ったため、内装工事業を創業することにした。	

## 2 経営者の略歴等

年月	内容	公庫処理欄
平成○年○月	リフォーム△△ 3年勤務(営業兼現場担当)	
平成○年○月～	(株)○○建装 12年勤務(現場担当7年、営業担当3年、 2年前から○×地区の総括営業部長)(現在の月給40万円) 退職予定(退職金100万円)	
平成○年○月		
過去の事業経験	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を運営していたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を運営していたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を運営していたことがあるが、既にその事業をやめている。 (⇒やめた時期： 年 月)	
取得資格	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 有 ( )	

## 3 取扱商品・サービス

取扱商品 サービスの 内容	① 住宅リフォーム(内装工事全般) (売上シェア 45%) 1ヵ所あたり10万円～	公庫処理欄
	② 新築マンションの内装工事 (売上シェア 45%) 1件あたり200万円～	
	③ 各種修繕工事 (売上シェア 10%)	
セールスポイント	・バリアフリーを目的としたリフォームを多く手掛けた経験を生かし、より機能性の高いバリアフリーの居住空間を提供することができる。 ・施工半年後に無料で点検するサービスを行う。	

## 4 取引先・取引関係等

取引先名(所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件	公庫処理欄
一般個人 (株)○○建装(○○区○○) (現勤務先)	50%	着工時、中間時、竣工時にそれぞれ3分の1ずつ回収	日回収	
ほか 社	%	%	日	
○○工業(株)(○○市○○) (現勤務先の仕入先)	100%	100%	末日翌月末	日支払
ほか 社	%	%	日	日支払
(株)○○建装(○○区○○) (現勤務先)	50%	100%	末日翌月末	日支払
各種職人(個人事業主)(元勤務先の外注先)	50%	100%	末日翌月末	日支払
人件費の支払			末日翌月末	日支払 (ボーナスの支給月 6月、12月)

・販売先・仕入先との結びつきがあれば記入してください。契約書・注文書などがあれば添付してください。  
・販売・仕入条件について確認しておく必要があります。立地選定理由についても触れてください。

・借入金の返済元金はここから支払われることになります。  
・個人営業の場合、事業主分の人件費はここに含まれます。

☆ この書類は、ご面談にかかる時間を短縮するために利用させていただきます。  
 ☆ なお、本書類はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。  
 ☆ お手数ですが、可能な範囲でご記入いただき、借入申込書に添えてご提出ください。  
 ☆ この書類に代えて、お客さまご自身が作成された計画書をご提出いただいても結構です。

## 5 従業員

常勤役員の数(法人の方のみ)	2人	従業員数(うち家族)	1人(0人)	パート・アルバイト	0人
----------------	----	------------	--------	-----------	----

## 6 お借入の状況（法人の場合、代表者の方のお借入れ（事業資金を除きます。））

お借入先名	お使いみち	お借入残高	年間返済額
○○銀行△△支店	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> カード <input type="checkbox"/> その他	2,544 万円	132 万円
	<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> カード <input type="checkbox"/> その他	万円	万円
	<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> カード <input type="checkbox"/> その他	万円	万円

## 7 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
店舗、工場、機械、備品、車両など(内訳) ・車両(ワゴン車) 2台 (○○社見積のとおり) ・工具一式 2セット (××社見積のとおり) ・事務機器・備品 (○△社見積のとおり) ・保証金	640 万円	自己資金	340 万円
	300	親、兄弟、知人、友人等からの借入(内訳・返済方法)	万円
	200		
	50	日本政策金融公庫 国民生活事業からの借入 元金6万円×84回(年○.○%)	500 万円
	90	他の金融機関等からの借入(内訳・返済方法)	万円
商品仕入、経費支払資金など(内訳) ・材料仕入 ・外注費支払	200 万円		
	100		
	100		
合計	840 万円	合計	840 万円

見積書などを添付してください。

金額は一致します。

## 8 事業の見通し（月平均）

	創業当初	軌道に乗った後(○年○月頃)	売上高、売上原価(仕入高)、経費を計算された根拠をご記入ください。
売上高 ①	400 万円	520 万円	<創業当初> 人件費は、従業員数もわかるようにしてください。 ①売上高 200万円/件×2件/月=400万円(受注契約あり)
売上原価 ②(仕入高)	260 万円	338 万円	②原価率 65%(材料費、外注費)(勤務時の経験から) ③人件費 代表者1人、役員1人、従業員1人 (代)30万円+(役)30万円+(従)20万円=80万円 家賃 15万円 支払利息 500万円×年○.○%÷12ヵ月=1万円 その他諸経費30万円
人件費(注)	80 万円	110 万円	
家賃	15 万円	15 万円	
支払利息	1 万円	1 万円	
その他	30 万円	40 万円	<軌道に乗った後> ①創業当初の1.3倍(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 役員報酬・従業員給与増額 計30万円増 その他諸経費10万円増
合計 ③	126 万円	166 万円	(注) 個人営業の場合、事業主分は含めません。
利益 ①-②-③	14 万円	16 万円	

ほかに参考となる資料がございましたら、計画書に添えてご提出ください。

(日本政策金融公庫 国民生活事業)